



令和8年度 第2回
碧南市水道事業及び下水道事業審議会

適正な下水道使用料のあり方について

令和8年8月17日（月）
碧南市開発水道部下水道課

目 次

- 1 前回の審議会の内容について

- 2 碧南市の現状分析・将来推計

- 3 今後必要となる投資について

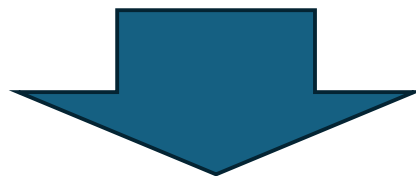
- 4 使用料改定率について（総論）

1 前回の審議会の内容について

1-1 振り返り（第1回）

◆ 第1回審議会（令和8年7月3日開催）

- ・ 碧南市下水道事業の概要
- ・ 下水道事業の経営状況
- ・ 下水道使用料改定の検討方針



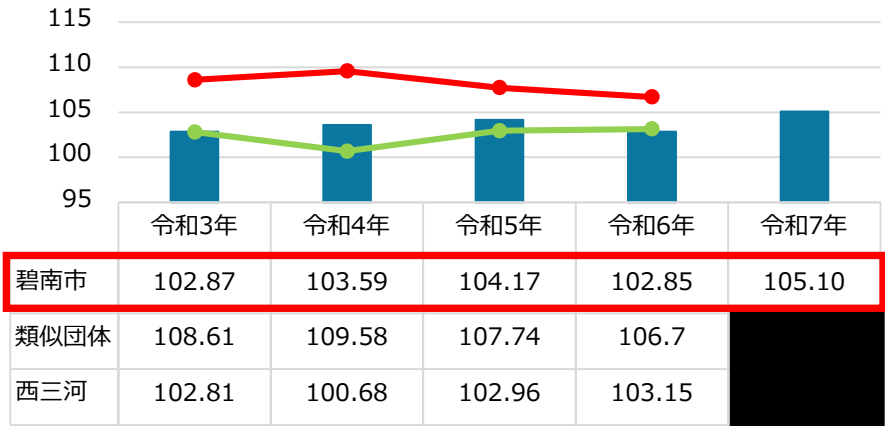
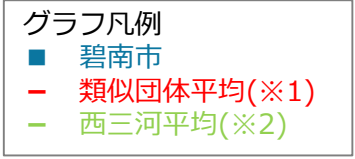
適正な下水道使用料のあり方を検討する

2 碧南市の現状分析・将来推計

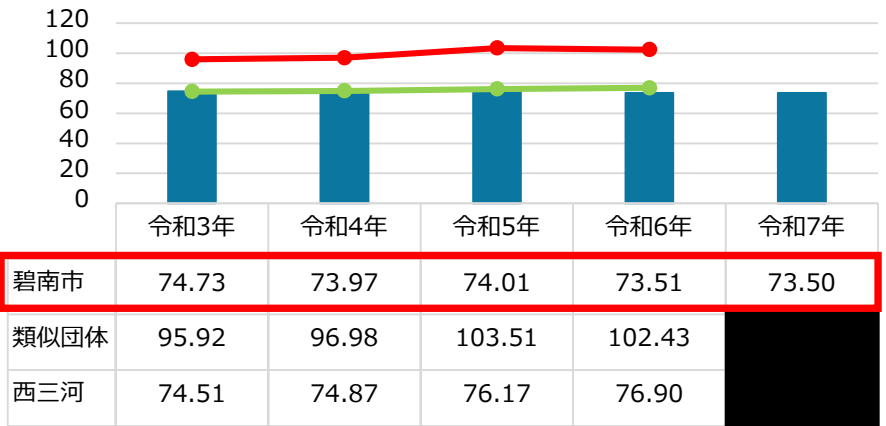
2-1 現状分析（1）

経営の健全性・効率性

経常収支比率（%）



経費回収率（%）



経常収支比率と経費回収率

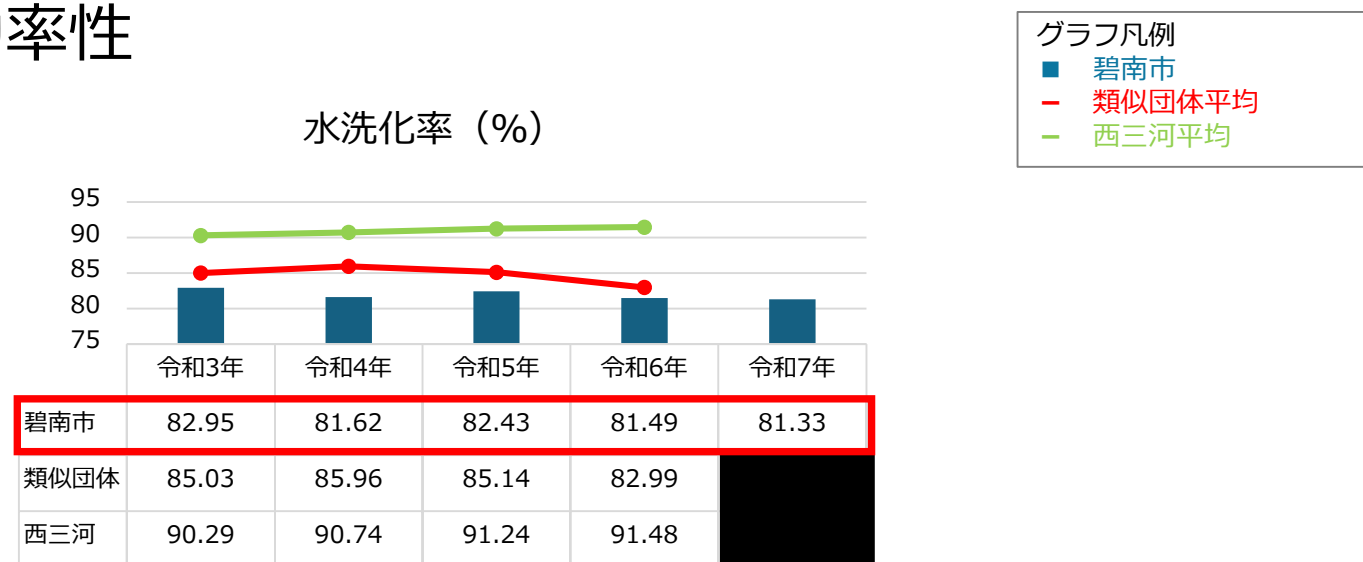
- 「経常収支比率」は類似団体の平均値を下回っていますが、健全経営の水準とされる100%を上回っています。
- 「経費回収率」は100%を下回っています。
- 公営企業が独立採算で運営するには、**経費回収率は100%であることが求められています。**

※1 類似団体平均とは、規模・性質・業務内容などの点で類似していると判断される他の団体の平均値を示しています。
※2 西三河平均は、刈谷市、安城市、知立市、高浜市、西尾市、豊田市、岡崎市、みよし市の碧南市以外の八市の平均値を示しています。

2 碧南市の現状分析・将来推計

2-2 現状分析（2）

経営の健全性・効率性



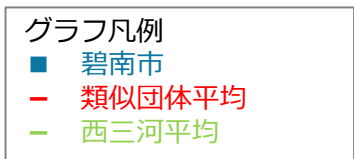
水洗化率

- 水洗化率とは、処理区域内人口のうち、下水道に接続している人口の割合を示した指標です。
- 近年は、81～82%で推移しています。
- 令和17年度までに水洗化率90%を目標とします。**

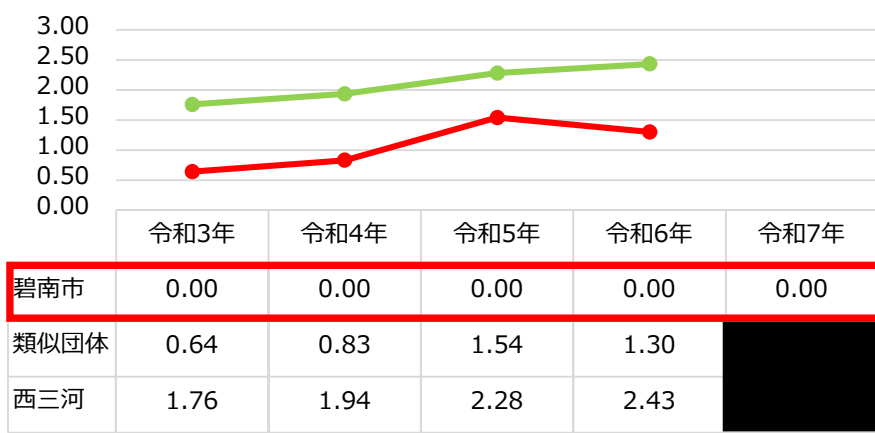
2 碧南市の現状分析・将来推計

2-3 現状分析（3）

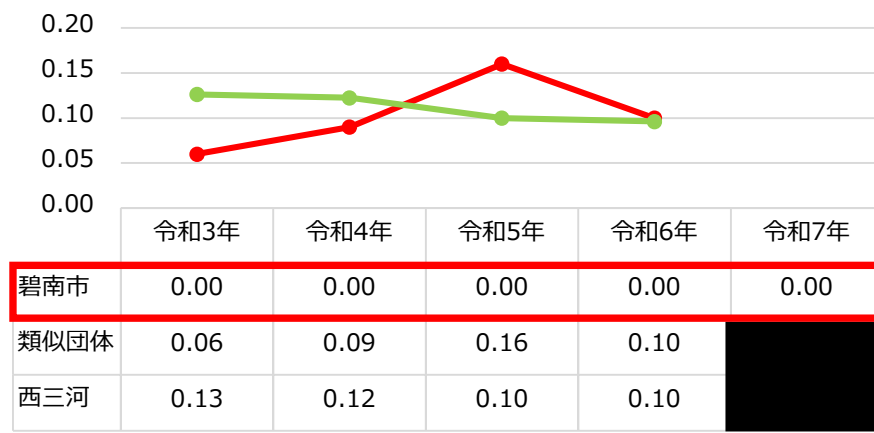
管渠（污水）の老朽化の状況について



管渠老朽化率（%）



管渠改善率（%）



管渠老朽化率

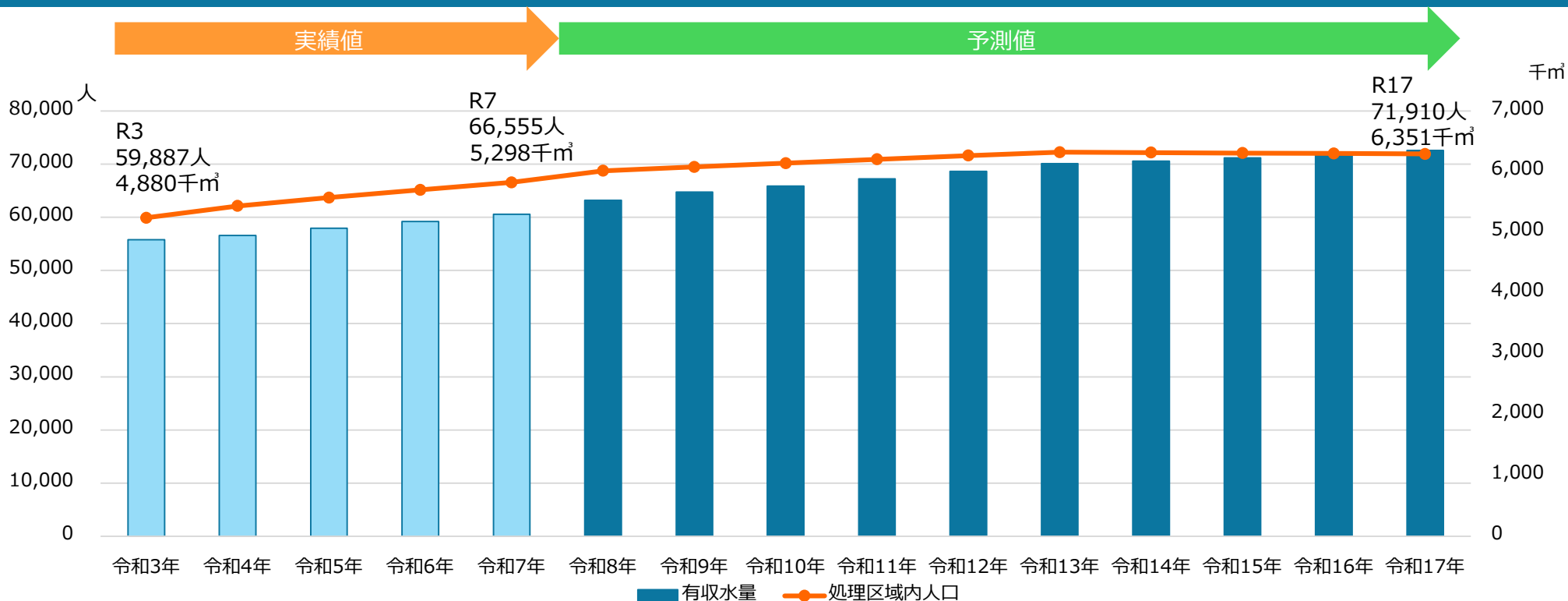
- ・ 碧南市の管渠老朽化率は、0 %です。
- ・ 管渠の耐用年数は50年のため、耐用年数を迎えた管渠はありません。

管渠改善率

- ・ 碧南市の管渠改善率は、0 %です。
- ・ 管渠の更新はしていません。
- ・ 管渠の適正な維持管理を行います。

2 碧南市の現状分析・将来推計

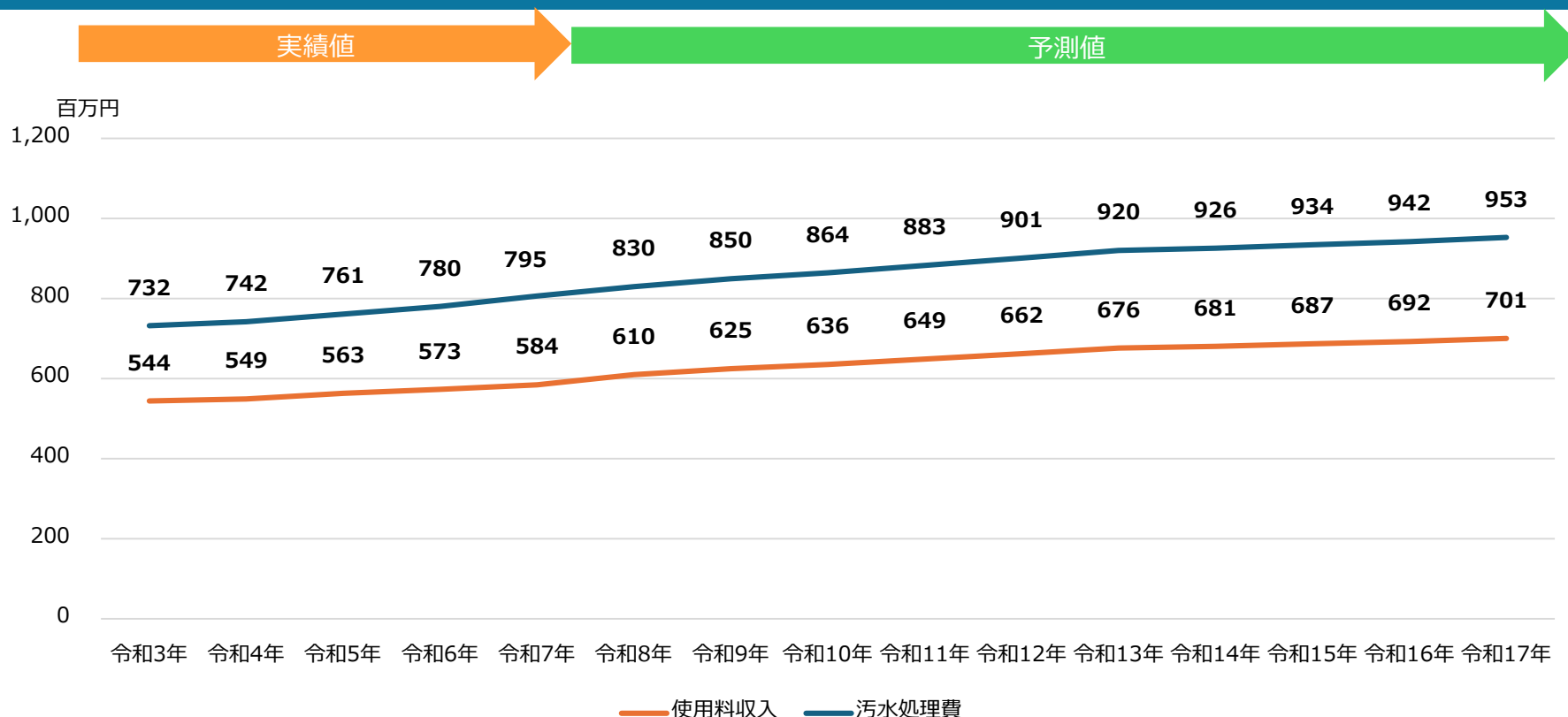
2-4 処理区域内人口と有収水量の推移と予測



- 令和7年度の決算見込をもとに、経営戦略の推計を見直しました。
- 令和3年度と令和7年度を比較すると、処理区域内人口及び有収水量は、共に増加しています。
- 令和8年度以降は、水洗化率の増加により、有収水量の緩やかな増加を見込んでいます。

2 碧南市の現状分析・将来推計

2-5 使用料収入と汚水処理費の推移と予測

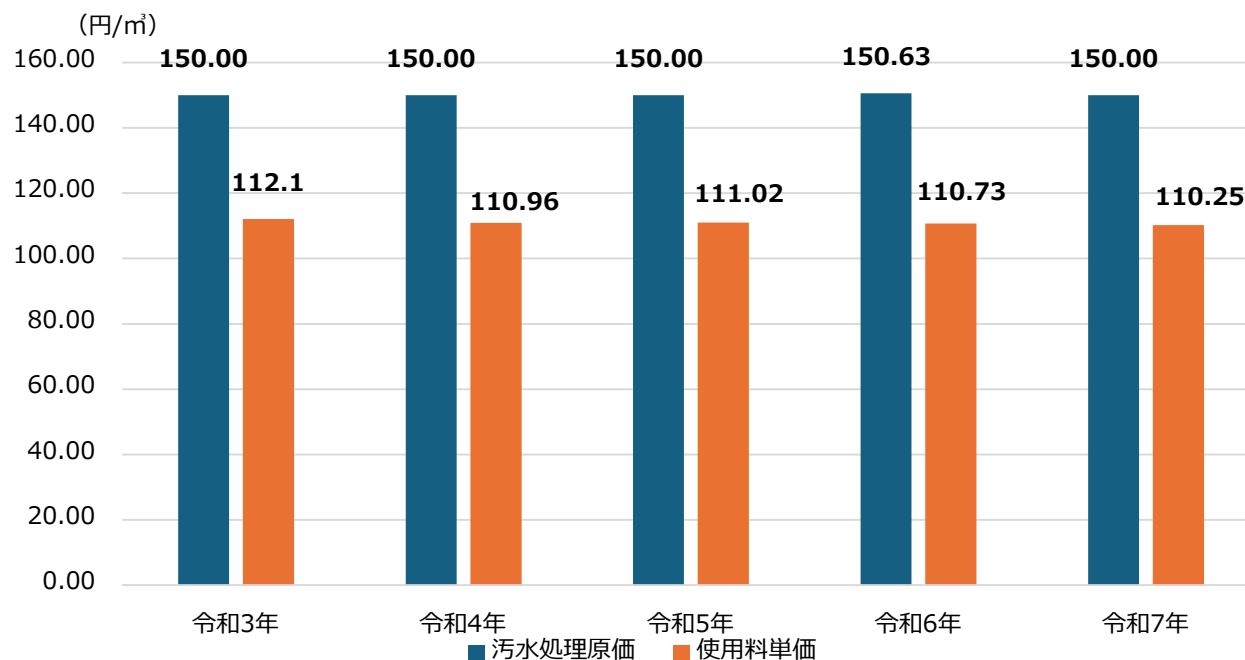


- ・ 使用料収入は、有収水量の増加に伴って増加していきます。
- ・ 汚水処理費は、物価上昇や設備の更新投資により増加していきます。
- ・ 現状の使用料水準では、汚水処理費を、使用料収入で賄うことができません。

2 碧南市の現状分析・将来推計

2-6 使用料単価と汚水処理原価

使用料単価と汚水処理原価の比較

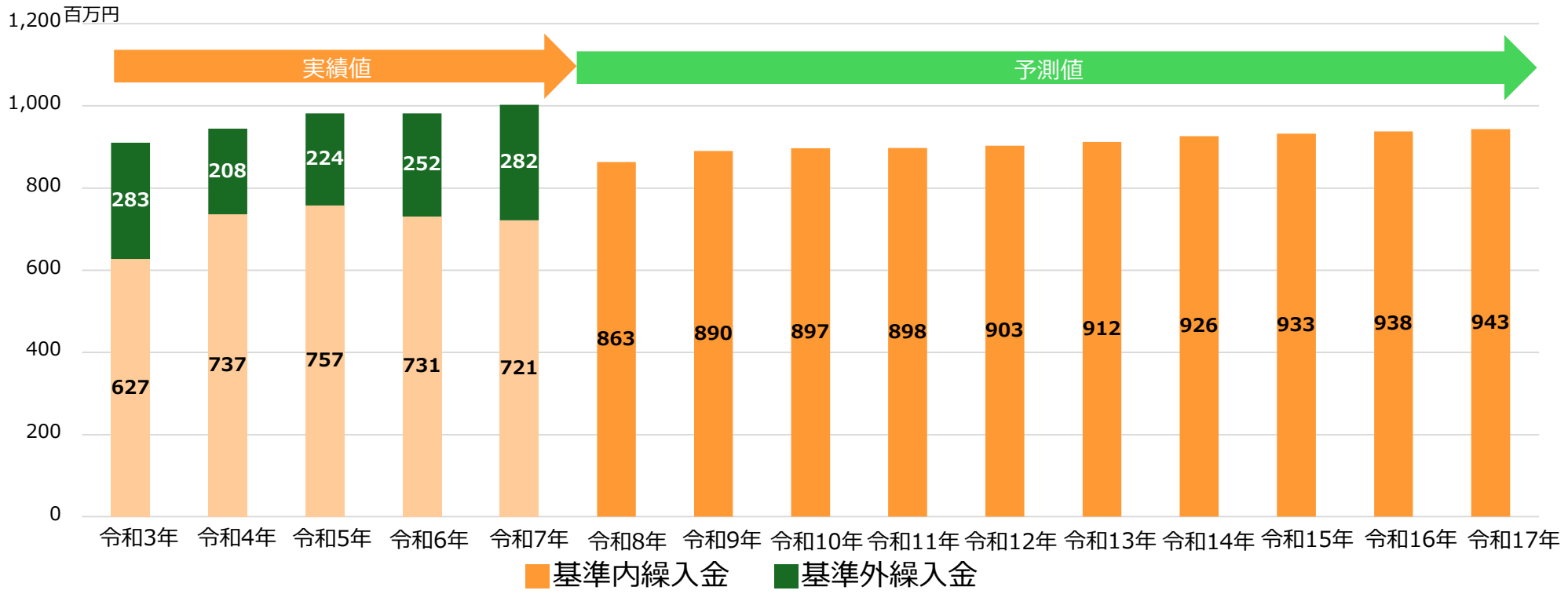


使用料単価と汚水処理原価

- 汚水処理原価を使用料単価が下回っています。
- 不足分の約40円については、一般会計からの繰入金により賄っています。

2 碧南市の現状分析・将来推計

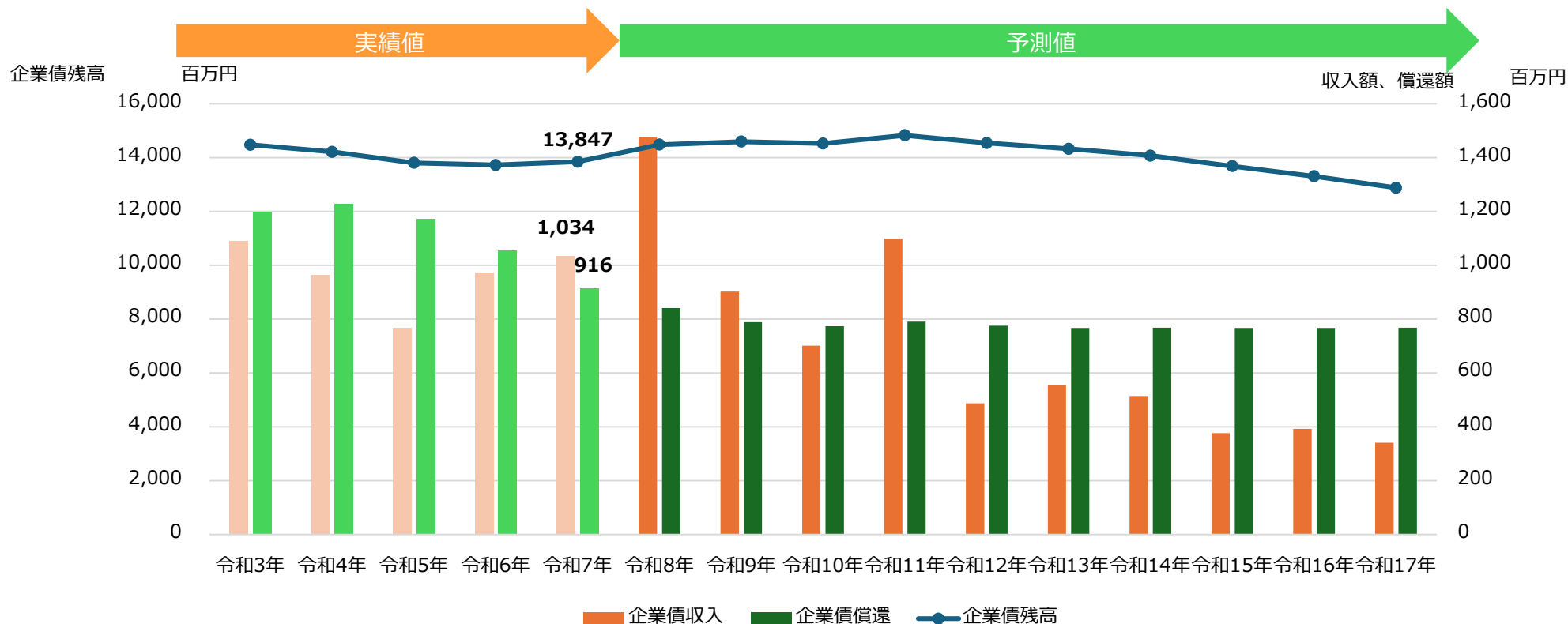
2-7 繰入金（污水）について



- 令和8年度以降は、流域下水道の負担金や支払利息が増加した影響で、基準内繰入金が増加しています。
- 令和8年度以降は、基準内繰入金のみで賄うことが求められています。

2 碧南市の現状分析・将来推計

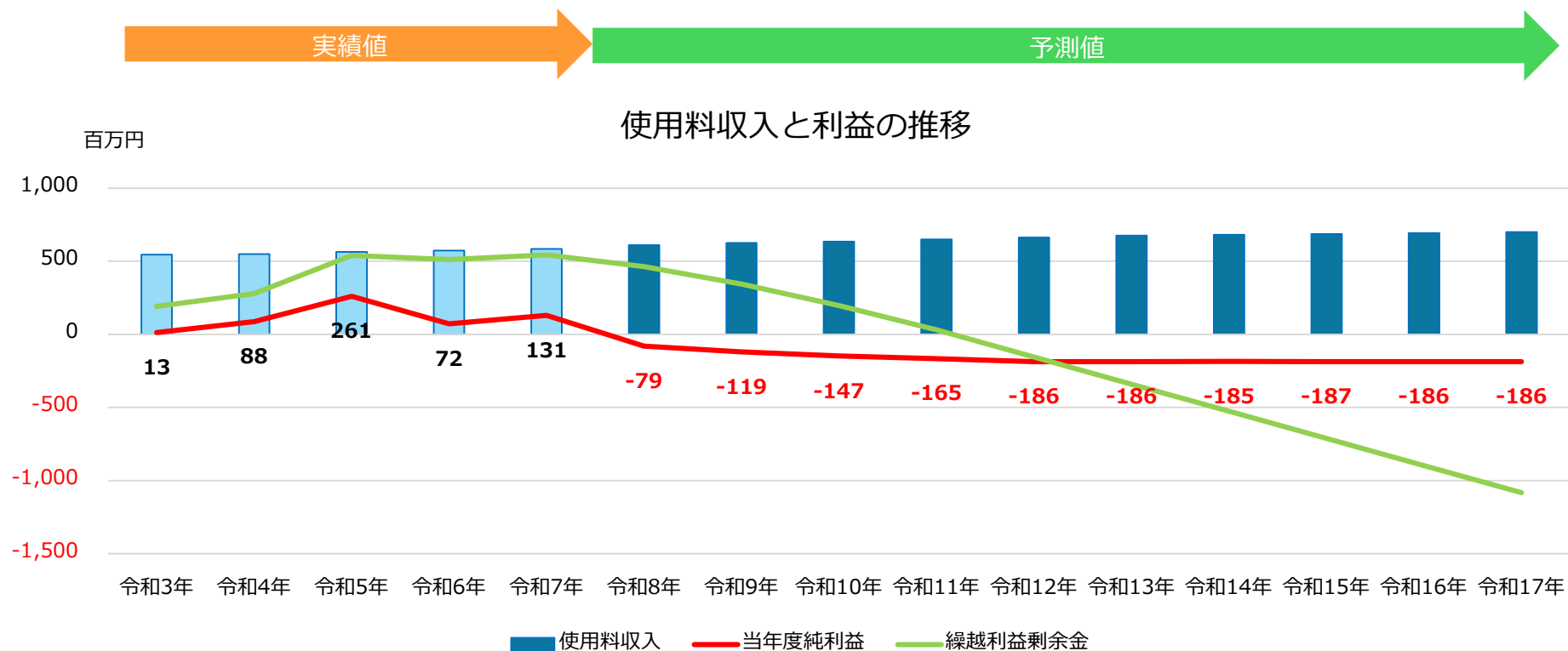
2-8 企業債について



- ・ 企業債残高は、緩やかに減少していきます。
- ・ 企業債収入は、令和8年度に管渠（污水）の面的な整備が、おおむね完了することより、減少傾向となります。

2 碧南市の現状分析・将来推計

2-9 将来推計（現在の使用料）



- ・ 令和8年度以降は、**当年度純利益が赤字**となります。それに伴い、繰越利益剰余金が減少していきます。
- ・ 令和12年度以降は、**繰越利益剰余金が赤字**となります。

2 碧南市の現状分析・将来推計

2-10 まとめ

- ・経費回収率が100%を下回っています。
- ・令和8年度以降は、基準内繰入金のみで賄うことが求められています。



- ・令和8年度以降は、**当年度純利益が赤字**となります。
- ・令和12年度以降は、**繰越利益剰余金が赤字**となります。
- ・現状の使用料水準では、污水处理費を使用料収入で賄えません。



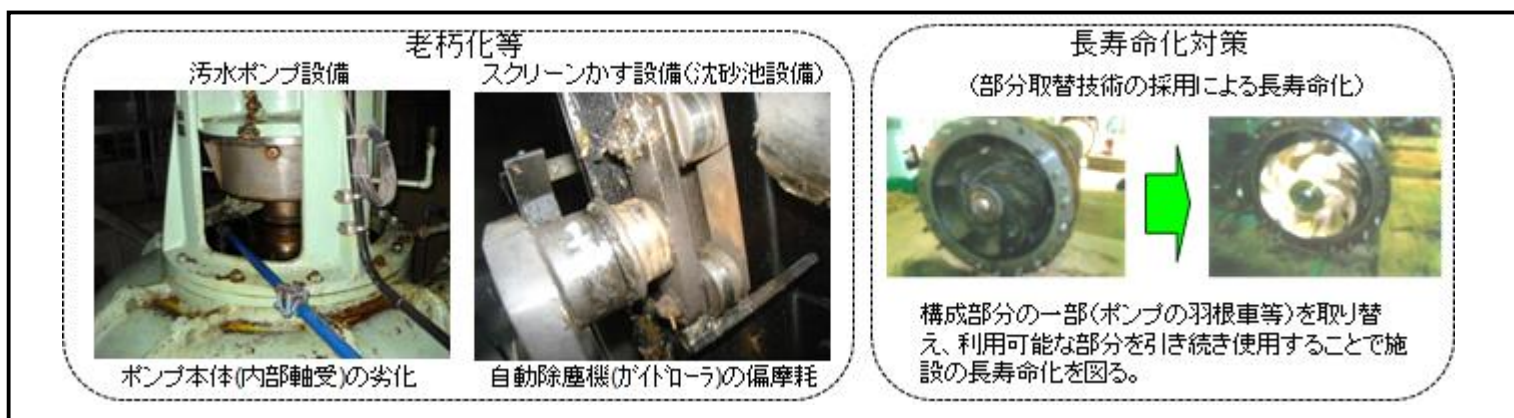
- ・下水道事業を独立採算で運営していくためには、
使用料を改定する必要があります。

3 今後必要となる投資について

3-1 碧南市の下水道施設の現状

- ポンプ場（污水）及び管渠(污水) について、現時点では劣化していないが、引き続き、施設を健全に稼働するため、維持管理をしていく必要があります。

- ポンプ場の機械設備等について、計画的な更新を行います。
- 管渠は、継続した監視保全を徹底し、適正な維持管理を行います。

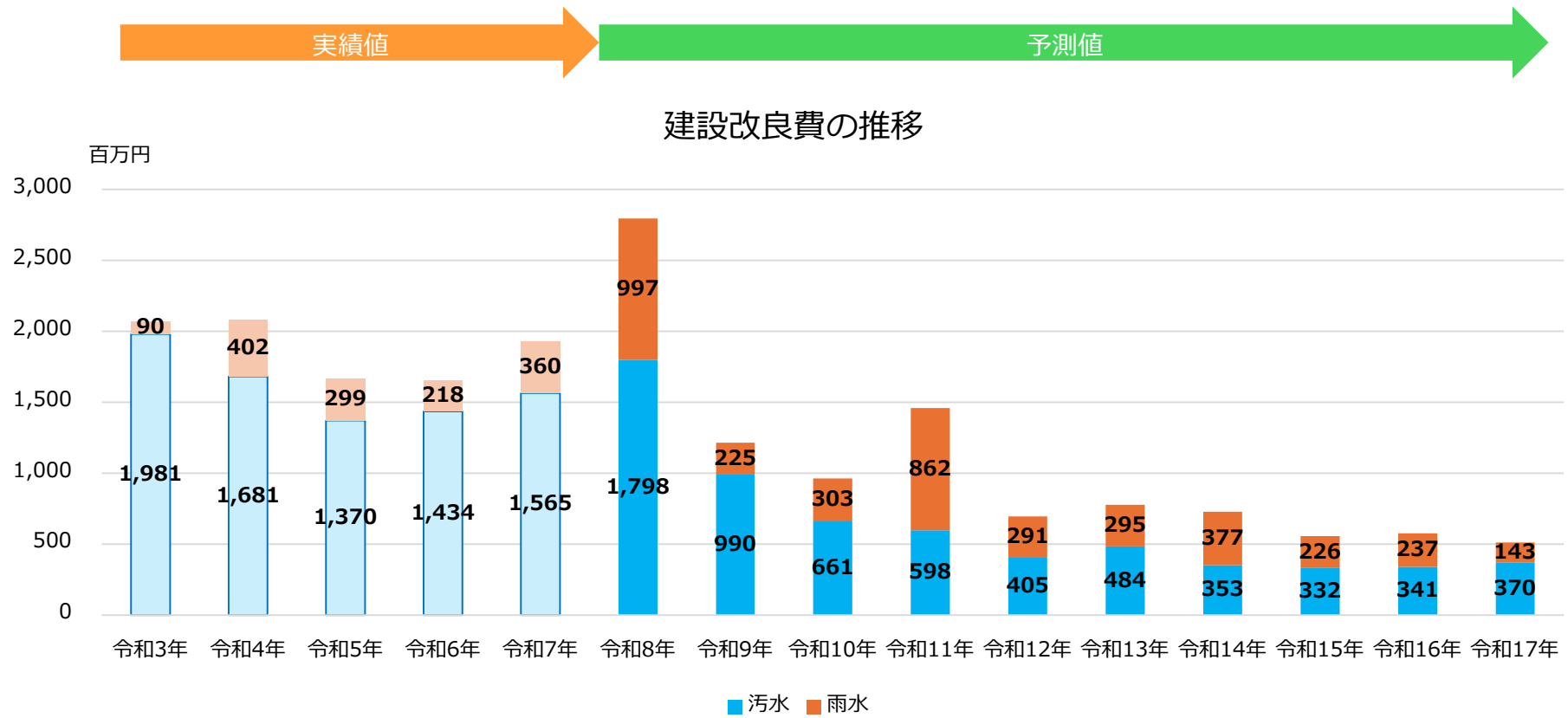


直近では、令和7年7月7日兵庫県赤石市において、藤江ポンプ場の污水ポンプ制御装置が故障し、一部のマンホールから污水が溢水する事故が起きています

引用：国土交通省HPより

3 今後必要となる投資について

3-2 今後の投資計画（污水・雨水）



- ・ 令和3～8年度は、下水道施設を整備するために、多額の建設改良費を支出してきました。
- ・ 令和9年度以降は、主に維持管理に必要な投資を進めていきます。

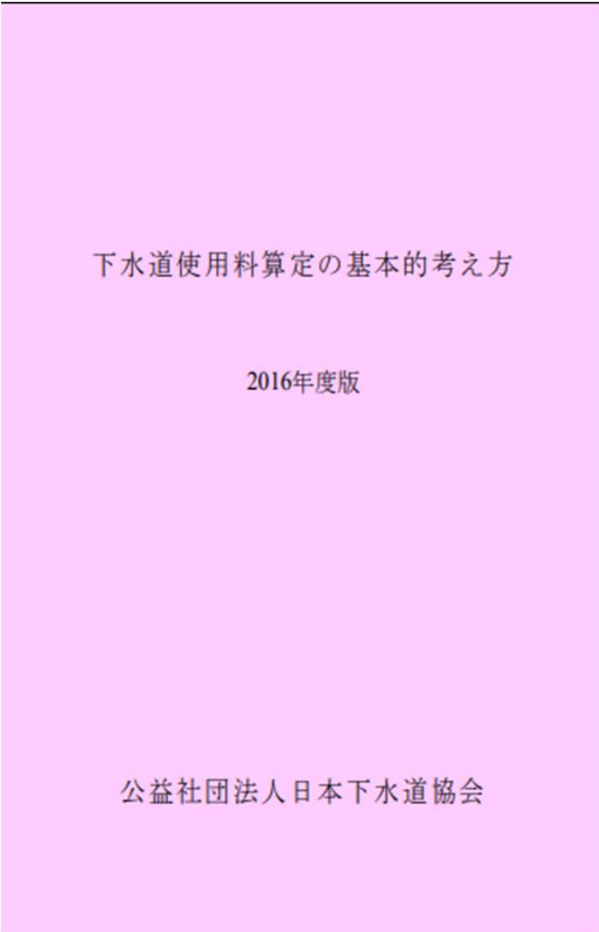
3 今後必要となる投資について

3-3 まとめ

- ・ポンプ場の機械設備等について、計画的な更新を行います。
- ・管渠は、継続した監視保全を徹底し、適正な維持管理を行います。
- ・令和8年度に、管渠の面的な整備がおおむね完了する予定であり、建設改良費は減少していく見込みです。
- ・投資財源については、国庫補助金や企業債を活用します。

4 使用料改定率について（総論）

4-1 使用料算定の前提条件



下水道使用料改定の基本的な考え方について2016年度版
(公益社団法人日本下水道協会)

「下水道使用料改定の基本的な考え方について」に則り、
以下に**使用料算定の前提条件**を示します。

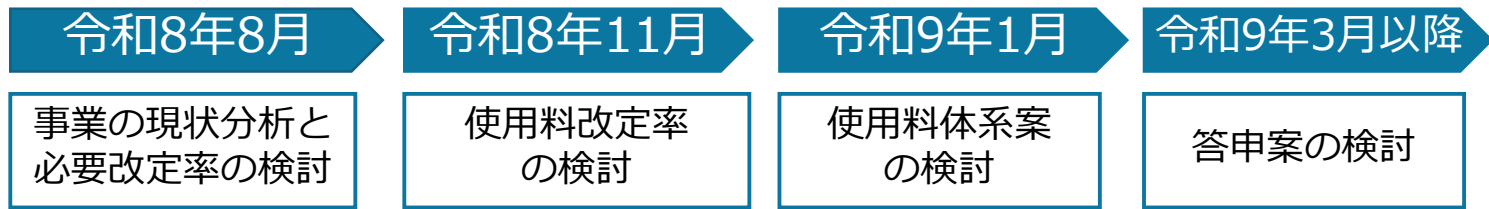
令和8年3月31日時点

区分	前提条件
法適用状況	一部適用（財務適用）
事業名	碧南市下水道事業
人口	71,914人
処理区域内人口	66,555人
接続件数	23,388戸
調定件数	133,359件/年
年間平均処理水量	5,512,010m ³ /年
平均処理能力	41,300m ³ /日
建設開始年度	平成元年度
供用開始年度	平成8年度
現在の普及率	92.5%
供用開始後経過年数	30年
排除方式	分流式
処理方式	高度処理

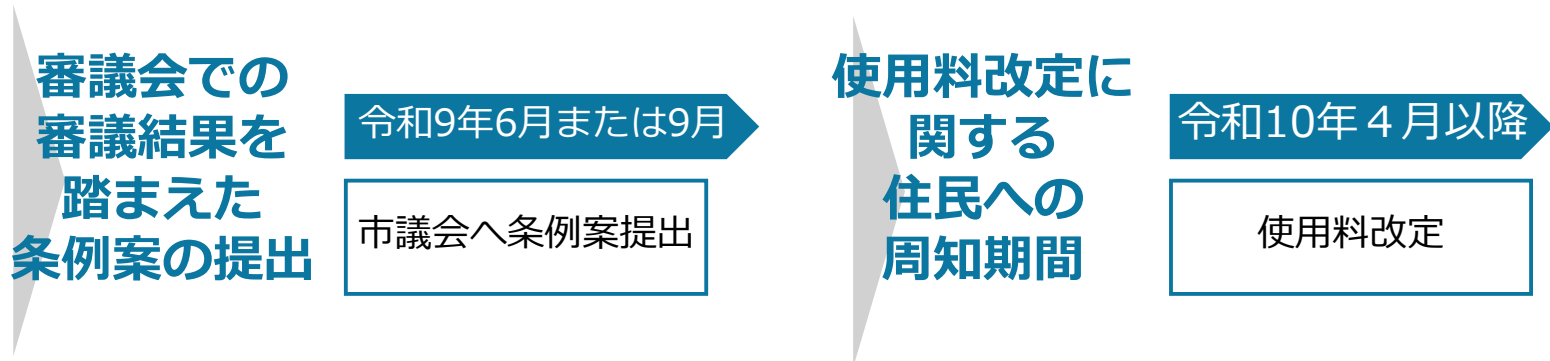
4 使用料改定率について（総論）

4-2 使用料改定に向けてのスケジュール

本審議会のスケジュール



使用料改定に向けてのスケジュール



□ 審議会でのご審議、議会への条例案提出、住民への周知期間を踏まえると、使用料の改定時期は、令和10年4月以降となります

4 使用料改定率について（総論）

4-3 使用料算定期間について

下水道使用料の算定期間とは

下水道使用料を算定するために、使用料対象経費を積算する期間のことをいいます。

下水道使用料の算定期間の設定

- ・ 公共料金としての性格（安定的な価格設定）
- ・ 予測の不確実性等を考慮



「**一般的には3年から5年**程度に設定することが適当」とされています。

4 使用料改定率について（総論）

4-4 使用料算定期間のメリット・デメリット

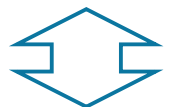
短期

<メリット>

- 原価の的確な把握が可能であり、経済や給水需要の動向などの予測に伴う不確定要素をより排除できます。
- 経営努力による経費削減等、実績をタイムリーにモニタリングすることができます。

<デメリット>

- 使用料改定には1年以上の検討期間を要するため、使用料改定の効果を分析する間もなく、次回の改定を検討する必要があります。
- 下水道審議会の支援業務に要する費用が、短期間で必要となります。
- システム改修費用が、短期間で必要となります。



短期・長期のそれぞれのメリット・デメリット

長期

<メリット>

- 長期的な視点でみると、予測と実績の比較等、モニタリングが長期に検討できます。
- 接続者の増加により、次回の改定が不要となる可能性があります。
- 下水道審議会の支援業務に要する費用が、軽減されます。
- システム改修費用が、軽減されます。

<デメリット>

- 原価を把握できる妥当性が低くなります。

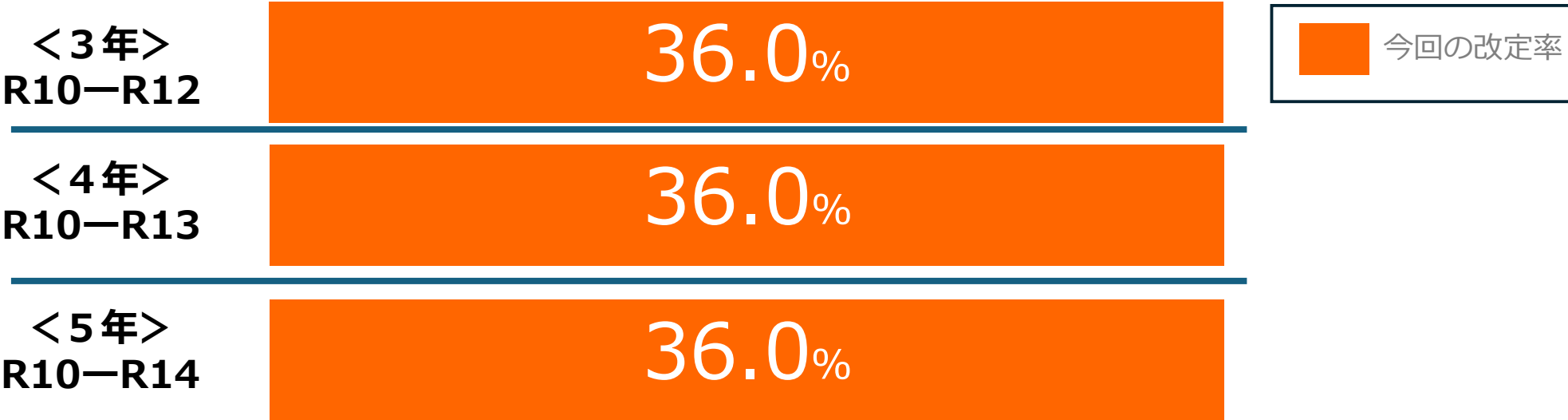
4 使用料改定率について（総論）

4-5 使用料算定期間における使用料改定率（案①）

使用料改定シミュレーション条件

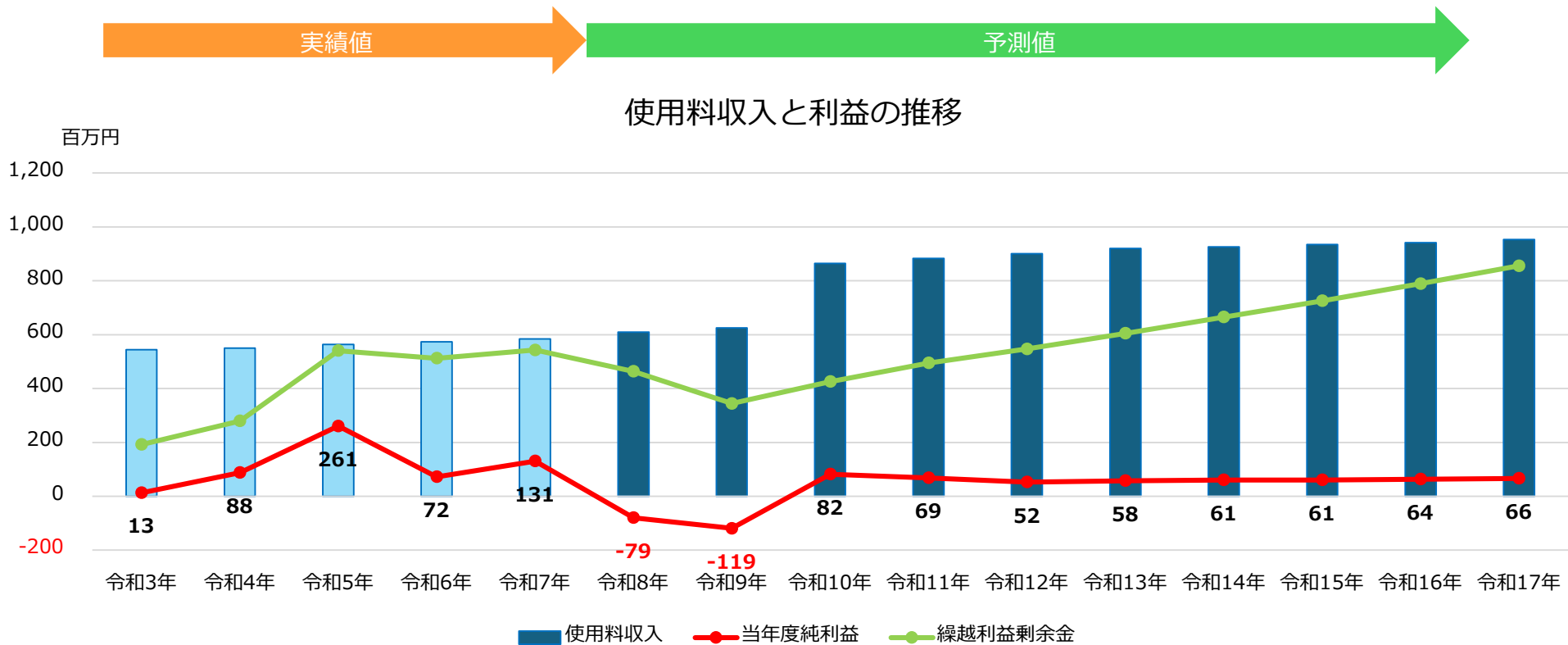
当年度純利益	当年度純利益はプラス
経費回収率	100%
使用料単価	150円/m ³

使用料改定シミュレーション結果



4 使用料改定率について（総論）

4-6 使用料改定後の将来推計（案①）



- ・ 令和 8、 9 年度には、**当年度純利益は赤字**となります。
- ・ 令和 1 0 年度以降は、**当年度純利益の黒字**を計上できます。

経費回収率100%を達成できるよう改定率を算定した場合、算定期間3～5年で全て同じ改定率が算出されます。
よって上記のグラフは全ての算定期間で共通のグラフです。

4 使用料改定率について（総論）

4-7 使用料改定率（案①）について

下水道使用料の改定率を財政シミュレーション

（国から要請されている水準）

- ①経費回収率 100%
- ②使用料単価 150円/m³



- 改定率は30%超となり、下水道
使用者の負担が大きくなります。

下水道使用料の改定状況		
	下水道使用料 改定率	改定年月
刈谷市	30.0%	令和8年4月
安城市	基本料金 250円の改定	令和7年4月
知立市	29.5%	令和5年4月
高浜市	—	—
西尾市	27.0%	令和9年4月
岡崎市	27.5%	令和9年4月
豊田市	6.3%	令和7年4月
みよし市	20.0%	令和7年4月

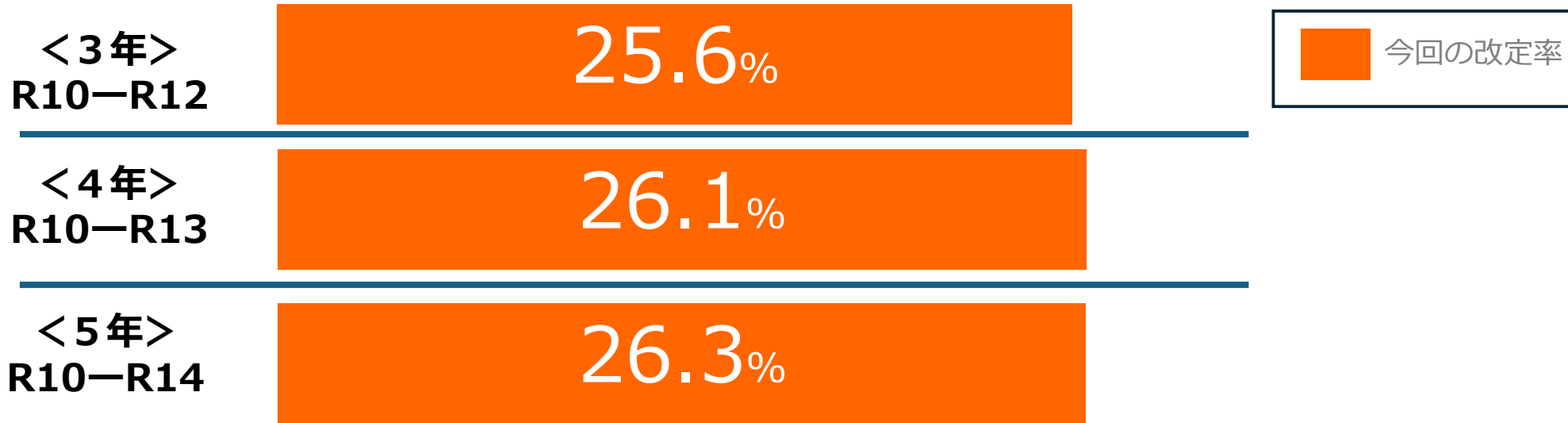
4 使用料改定率について（総論）

4-8 使用料算定期間における使用料改定率（案②）

使用料改定シミュレーション条件

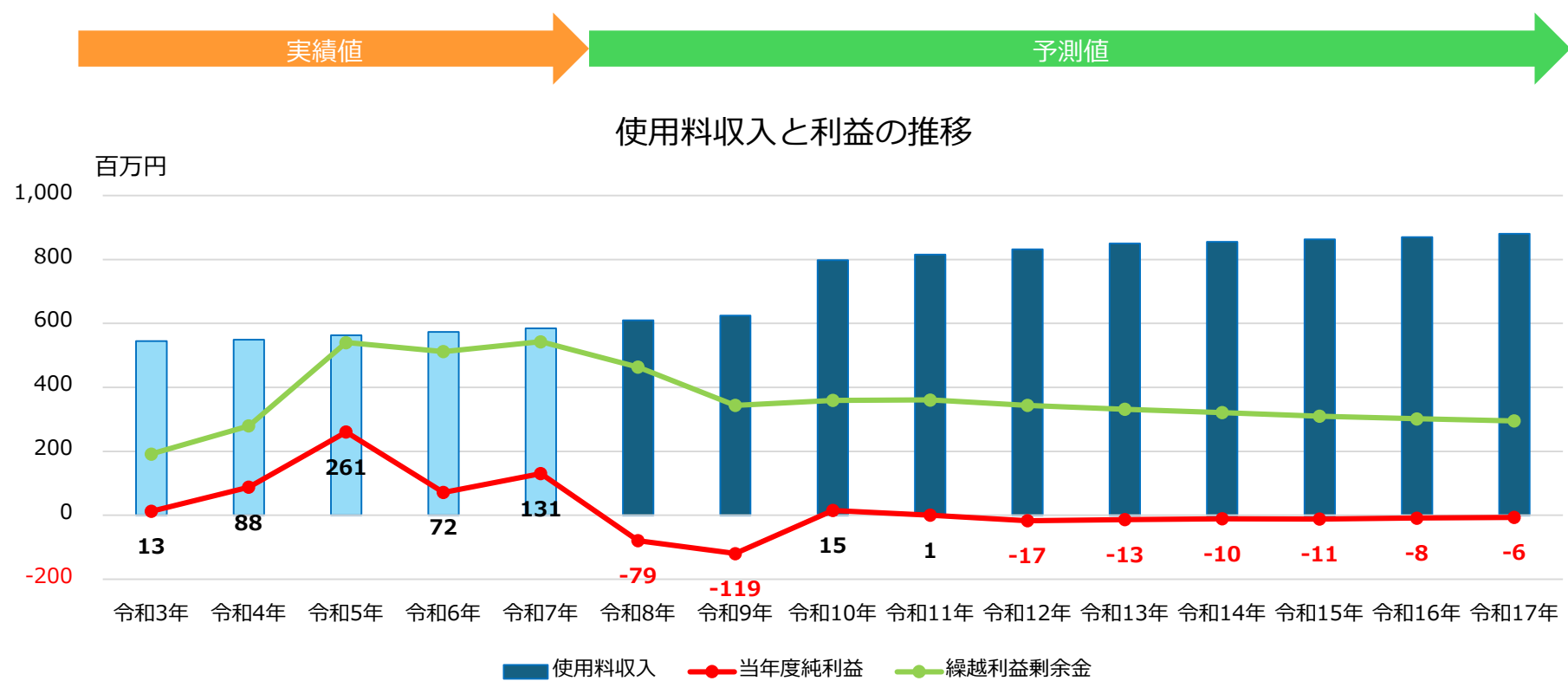
当年度純利益	収支均衡
経費回収率	約92%
使用料単価	約139円/m ³

使用料改定シミュレーション結果



4 使用料改定率について（総論）

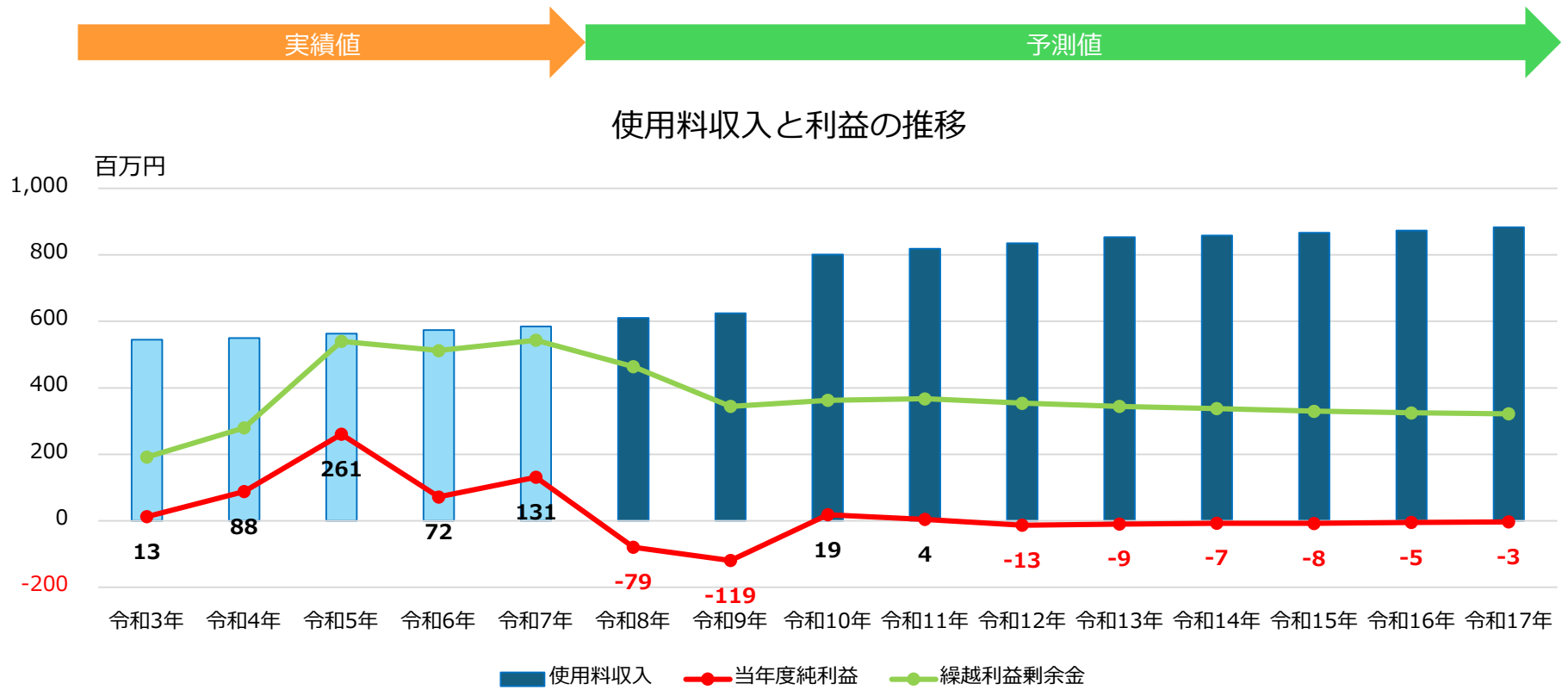
4-9 使用料改定後の将来推計（案②）3年



・ 算定期間が3年の場合、令和10年から令和12年の3年間の当年度純利益の合計が収支均衡となり、その後は赤字が続きます。

4 使用料改定率について（総論）

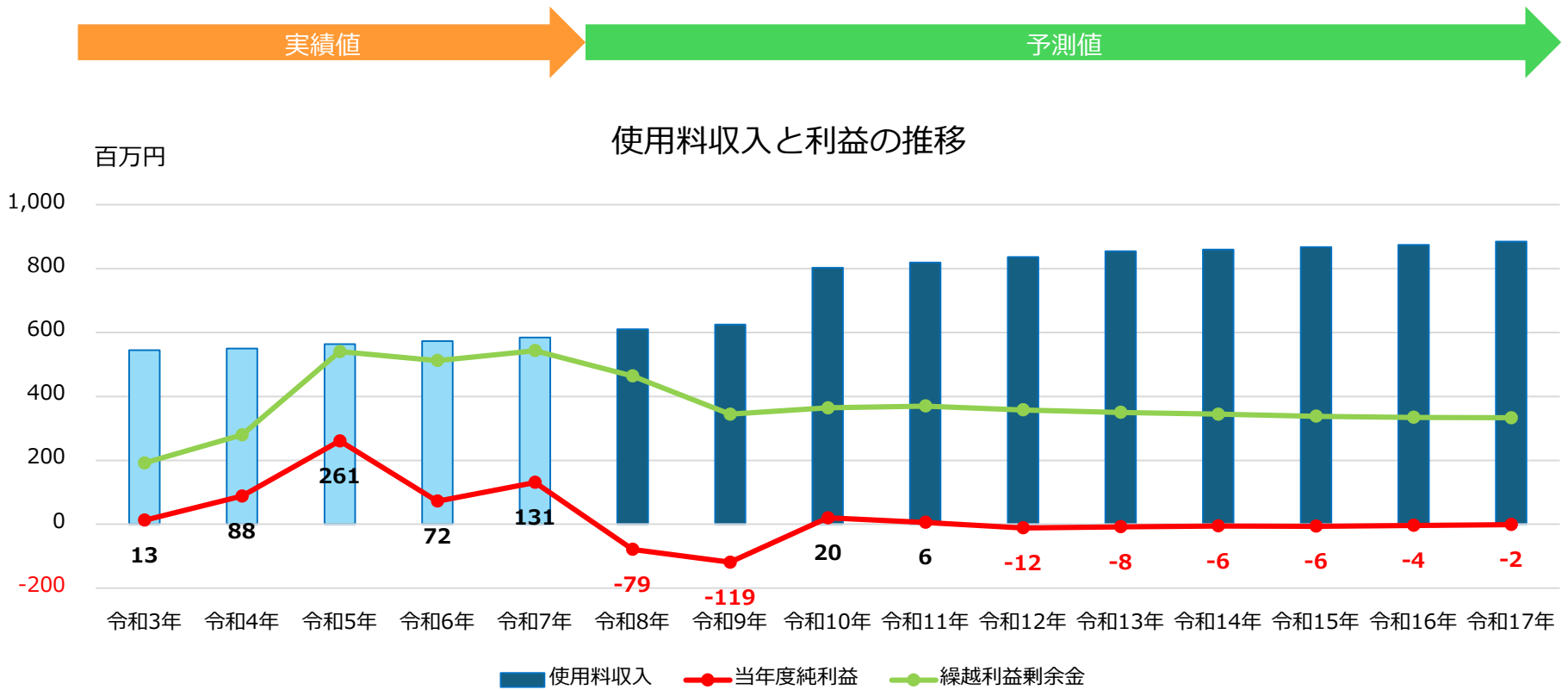
4-10 使用料改定後の将来推計（案②）4年



• 算定期間が4年の場合、令和10年から令和13年の4年間の当年度純利益の合計が収支均衡となり、その後は赤字が続きます。

4 使用料改定率について（総論）

4-1 1 使用料改定後の将来推計（案②） 5年



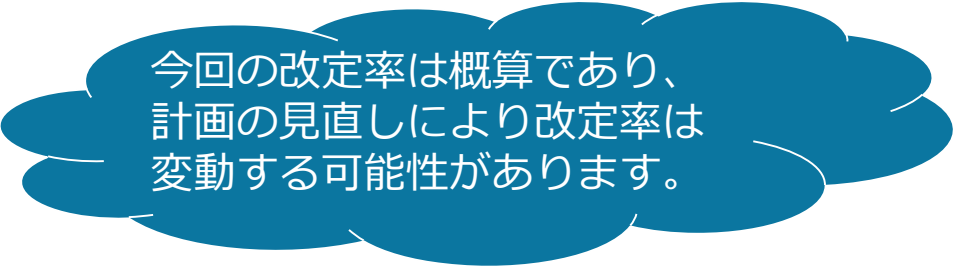
• 算定期間が5年の場合、令和10年から令和14年の5年間の当年度純利益の合計が収支均衡となり、その後は赤字が続きます。

4 使用料改定率について（総論）

4-12 本日のご審議事項

本日もご審議いただきたい事項

- 使用料の改定時期
- 使用料算定期間
- 使用料改定率（総論）



今回の改定率は概算であり、
計画の見直しにより改定率は
変動する可能性があります。